

密教に於ける宗教容體の根本觀念に就て
明王の研究

百合 謙城
慈氏 周忍

密教經軌に現れたる降伏思想に就て

池田 瑩澄

宗教史上に顕はれたる權化思想の研究

山口 光憲

科學上より觀たる立川流

頼富 密定

密教美術の色彩研究

岸本 寛定

天台宗西部大學 三月

叡山の學系に就て

梅田 圓鈔

傳教大師の神祇觀

山田 惠諦

三大部に顯はれたる華天の比較論

北村 實江

優婆提舍の發達史

今出川 行忍

天台宗聲明發達史論

多紀 道忍

法華の天台と日蓮との比較研究

佐藤 實三

會報

大乘教理學會々報

五月二十七日第五教室に於て例會を開催す、講師及び講題左の如し。

大日經の研究

智山大學教授 林田光禪氏

大日經の原典より翻譯傳來せり始めて東密台密上の比較研究をなし殊に南天の鐵塔に關する高等批評を試み次いで經典の内容を縱横に批評して結論されたり、前後凡そ二時間に互つて特獨なる研究を發表されて教理史學の方面に於いて頗る有益なる講演なりき。

金子、廣木の兩教授日下、長谷、岩見等の職員及び會の委員等學生を合せて凡そ二十餘名出席せり。(推名六郎)